

振茶の習俗

日本国内には、抹茶のほかに茶筥を用いて茶を飲用する習俗があり、現在では数箇所のみ残存している。

ぼてぼて茶

島根県の出雲地方に伝わる庶民の間食である。ウケチャ、ポテポテ茶とも呼ばれる。日本各地にある振り茶の一種。茶を独特の茶筥で泡立てる際に生じる音が「ぼてぼて茶」の名前の由来である。 By Wikipedia
秋に収穫した番茶と茶花を用いるのが特徴である。

ブクブク茶

沖縄県で飲まれる振り茶。煎り米を煮だした湯と茶湯を混ぜて泡立て、その泡を茶湯と赤飯の上に盛って飲む。特徴的な泡が、名称の由来である。 By Wikipedia
沖縄で飲用されるさんぴん茶（ジャスミン茶）を用いる。

ばたばた茶

バタバタ茶とも書き、富山県下新川郡朝日町で生産される茶（後発酵茶、黒茶）。富山県北部と新潟県糸魚川地域で飲まれている。 By Wikipedia



ブクブク茶筥
(沖縄県)



バタバタ茶筥
(富山県・朝日町)



ぼてぼて茶筥
(島根県・松江)



抹茶用茶筥
(全国)